

# ESSAY

## 日本人の結婚事情

森下鉄夫

静岡赤十字病院内科

最近の日本は、結婚に関しても晩婚化や少子化、さらに未婚ならぬ非婚など騒々しい。

日本人の結婚の実態や結婚観について、平成3年度人口動態社会経済面調査報告——婚姻（厚生省大臣官房統計情報部）から要点のみに記してみる。

これは、平成3年6月1日から6月30日までの間に、5県4都市で婚姻の届出をした4,910組の夫妻を対象とした調査である。このような婚姻に関する大規模な調査は、これ以降にはみかけない。

### 1. 結婚時の状況

#### (1) 見合い結婚は1割強

結婚の形態は、恋愛が87%、見合いが13%であった。ちなみに、昭和41年度調査報告では、恋愛が50%、見合いが49%であった。

#### (2) 夫28.2歳、妻25.7歳

平均結婚年齢は夫が28.2歳、妻が25.7歳で、年齢分布では夫が24～30歳、妻が23～27歳の結婚が約60%を占めた。

#### (3) 7割弱で夫が年上

夫が年上の場合が68%（1～3歳上 35%、4～6歳 21%、7歳以上 12%）、夫妻同年が16%、妻が年上が15%（1～3歳上 12%、4～6歳 2%、7歳以上 1%）であった。

### 2. 結婚生活の状況

#### (1) 親と同居する夫妻は3割弱

親と同居している夫妻が28%（うち夫の親とが24%、妻の親とが3%）、別居している夫妻は71%であった。

#### (2) 住居は借家・賃貸アパートが半分弱

住居の状況では、「借家・民営の賃貸アパート」が47%、「持ち家」が33%、「公営・公社・公団の賃貸住宅」が9%、「給与住宅」が8%の順に多かった。前述の親と同居している夫妻では、「持ち家」が91%と圧倒的に多く、別居している夫妻では10%にすぎなかった。

#### (3) 結婚後も仕事を続けた妻は3/2

就業状況を見ると、結婚前は97%の妻が仕事をしていた。そのうち、結婚後も仕事を続けた（転職も含む）妻は67%、やめた妻は32%であった。

#### (4) 半分強の妻が子育て後に再就職

女性が結婚後も働くことについては、52%の妻が「子供ができたら一時やめて、子供に手がかからなくなったら再就職の方がよい」と考え、「結婚しても子供ができて職業をもち続けるほうがよい」と考える妻は18%であった。

#### (5) 夫妻の生活費は月10～20万円が多い

「夫妻のみ」世帯の1カ月の生活費は10～15万円未満と15～20万円未満がそれぞれ31%を占めていた。

#### (6) 妻の心配ごとは生活費、実家、住居

結婚にあたっての妻の心配ごとでは、「結婚後の生活費のこと」22%、自分の父母、兄弟

姉妹の生活のこと」20%、「結婚後の住まいのこと」19%などであった。

### 3. 家庭設計

#### (1) 大切にするのは子供との関わり

妻がこれからの家庭で大切にしていきたいものは、「子供との関わり合いの中での幸せな家庭」36%、「共通の趣味や生きがいを大切にする夫妻関係」25%、「子供や祖父母を含めた三世代の家庭関係」19%の順であった。

#### (2) 夫に望むことは意欲的な仕事と大きな目標

妻が夫に望むことでは、「意欲的に仕事をし、大きな目標をもっていること」40%、「家事や育児などに積極的に参加すること」24%、「安定した収入があること」13%などであっ

た。

#### (3) 予定子供数は夫2.3人、妻2.1人

夫妻の予定子供数は「2人」を希望するものが夫で57%、妻で62%ともっとも多く、次いで「3人」が夫で28%、妻で23%、「1人」が夫で8%、妻で11%であった。また夫と妻の各2%が「いない」と答えた。

やはり、現代は恋愛結婚の時代である。一時、年上妻が話題に上ったが、夫妻の多くは夫が年上である。結婚後の仕事については、フェミニズムやウーマンリブとは異なる日本女性の慎ましさやいじらしさを感じてしまう。

6年前の調査結果ではあるが、結婚された方々の以前と変らない堅実な生き方や考え方が想像される。